



連携型中高一貫教育校

小瀬高だより

小瀬高 SPIRITS & PRIDE

令和2年度 第10号
茨城県立小瀬高等学校
令和2年 9月15日

●ペリリュー島の戦いにおける遺族との対談

8月23日(日), 2年生4名が常陸大宮市が企画したペリリュー島の戦いにおける遺族と対談に参加しました。吉沢幸吉氏と喜美子氏(常陸大宮市在住)ご夫妻からは、太平洋戦争激戦地であるペリリュー島での戦いで戦死した叔父の吉沢勇さん(享年24歳)の当時の話について語られました。生徒たちはお二人の話を真剣に受け止めながら、当時の状況等について各々が熱心に質問をしました。そして、遺族の方々の次代へのメッセージをしっかり受け止め、平和への思いを語り継ぐことの大切さを心に刻んだ様子でした。



夫妻に当時の状況について質問する様子



吉沢さん夫妻と参加した高校生たち

生徒たちはお二人の話を真剣に受け止めながら、当時の状況等について各々が熱心に質問をしました。そして、遺族の方々の次代へのメッセージをしっかり受け止め、平和への思いを語り継ぐことの大切さを心に刻んだ様子でした。

●福祉コース リフト車体験授業

8月31日(月), 福祉コース3年生8名が、志村大宮病院介護部部長(茨城県介護福祉士会会長)であり本校非常勤講師の森久紀先生から「生活支援技術演習」の授業を受けました。この日は、実習として、車椅子の利用者を、車椅子のまま乗車可能なリフト車に乗車させる実践的な演習を行いました。生徒たちは「最初は簡単だと思っていたが、操作を誤ると利用者にケガを負わせかねないので難しかった。次はスムーズに行いたい」などの感想を述べていました。



リフト車へ車椅子利用者を乗降させる介助を学ぶ

生徒たちは「最初は簡単だと思っていたが、操作を誤ると利用者にケガを負わせかねないので難しかった。次はスムーズに行いたい」などの感想を述べていました。

●「パラオ料理アレンジレシピ」に挑戦

本校の家庭科ではコロナ休校期間中から「おにぎりプロジェクト」を実施しています。そこで、今回は常陸大宮市オリパラ推進室の企画「パラオ料理作り」に挑戦しました。1年生7名が三角おにぎりの中にパラオ名物のスパムと卵焼きなどを挟み、海苔で山を形どり、パラオの豊かな大地と自然を表現しました。同じレシピで握っても、生徒各人の個性あふれるおにぎり作品が完成しました。作品の写真をオリパラ推進室に送付したところ、推進室から素敵な参加賞をいただきました。



生徒が作ったパラオ料理「スパム」



市から参加賞をいただきました